

各位

上場会社名 エムスリー株式会社  
(コード番号:2413 東証プライム)  
(<https://corporate.m3.com>)

本社所在地 東京都港区赤坂一丁目 11 番 44 号  
赤坂インターシティ

代表者 代表取締役 谷村 格  
問合せ先 執行役員 大場 啓史

## 自己株式取得に係る事項の決定(会社法第 459 条第 1 項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)に関するお知らせ

エムスリー株式会社(以下、「当社」といいます。 )は、本日付の取締役会にて、会社法第 459 条第1項及び当社定款の規定に基づく自己株式取得に係る事項について、下記の通り決議しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 自己株式の取得を行う理由

当社では、経営基盤を強化し新たな事業展開に備えることを目的に、利益を内部留保し、再投資することを資源配分の基本方針としつつ、資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを総合的に勘案し、株主還元の水準を決定しております。

今般、2025 年3月期業績や 2026 年3月期業績見通し、現在の株価水準、および 2023 年に東京証券取引所より公表された「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請等、当社の財務状況や経営環境を総合的に勘案し、資源配分を検討しました。結果、当期については、株主還元として、剰余金の配当に加え、自己株式の取得を実施することといたしました。

今後も経営基盤の強化・新たな事業展開に備えつつ、財務状況や経営環境に応じた柔軟な資源配分を検討してまいります。

#### 2. 自己株式取得に係る事項の内容

|     |            |                                                |
|-----|------------|------------------------------------------------|
| (1) | 取得対象株式の種類  | 普通株式                                           |
| (2) | 取得し得る株式の総数 | 2,000 万株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.95%) |
| (3) | 株式の取得価額の総額 | 200 億円(上限)                                     |
| (4) | 取得期間       | 2025 年5月3日～2026 年4月 30 日                       |
| (5) | 取得方法       | 東京証券取引所における取引一任契約に基づく市場買付                      |

なお、市場動向等により、一部または全部の取得が行われない可能性もあります。

#### (参考1) 2025 年3月 31 日時点の自己株式の保有状況

|                  |               |
|------------------|---------------|
| 発行済株式総数(自己株式を除く) | 679,032,629 株 |
| 自己株式             | 45,271 株      |

(参考2) 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社は、事業の資本コストを算定・把握し、取締役会に報告しており、当社の ROE (株主資本利益率) が資本コストを十分に上回っていることを確認しています。他方で、市場からの評価については、直近2年間の PER などの株価指標を見ると約半分に低下しています。これはコロナ禍を契機とした需要の急拡大が落ち着き、過去と比べると ROE が低下していることも要因の一つであると分析しています。

当社としては、業績の拡大・成長を最優先としつつ、事業投資等の資本効率の高い使途に資金を配分し、その結果として ROE をはじめとする資本収益性指標も向上させることを目指しております。数か年に渡るコロナ禍の業績影響が 2025 年3月期ではほぼ剥落したことを踏まえ、今後業績の拡大・成長に向けた更なる取り組みを推進してまいります。

なお、当社の財務戦略は、経営基盤を強化し新たな事業展開に備えることを目的に、利益を内部留保し、再投資することを基本方針としております。また、資源配分の検討に当たっては、資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを総合的に勘案し、株主還元の水準を決定しております。2025 年3月期の親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)は 11.1%、2026 年 3 月期に行う配当による連結配当性向は 35.2%となっております。また、2026 年3月期には自己株式の取得を行うことを決定いたしました。

今後とも、業績の拡大を最優先に、資本効率の高い使途に資金を配分することで、企業価値の拡大と資本収益性指標の向上を目指してまいります。

以 上